

贈正四位大臣徳川家康公
 清和天皇の御子直純親王
 廿四代贈従三位大納言
 廣忠卿の長男
 御母水野
 寺政女
 大女

十一年二月廿六日三州
 誕生竹千代内
 廣忠公逝去あり今山表元
 二十三年御先服

一冊一





二代
贈正一位大
相国徳川
秀忠公
東照宮弟三子
御母の贈従二位宝篋



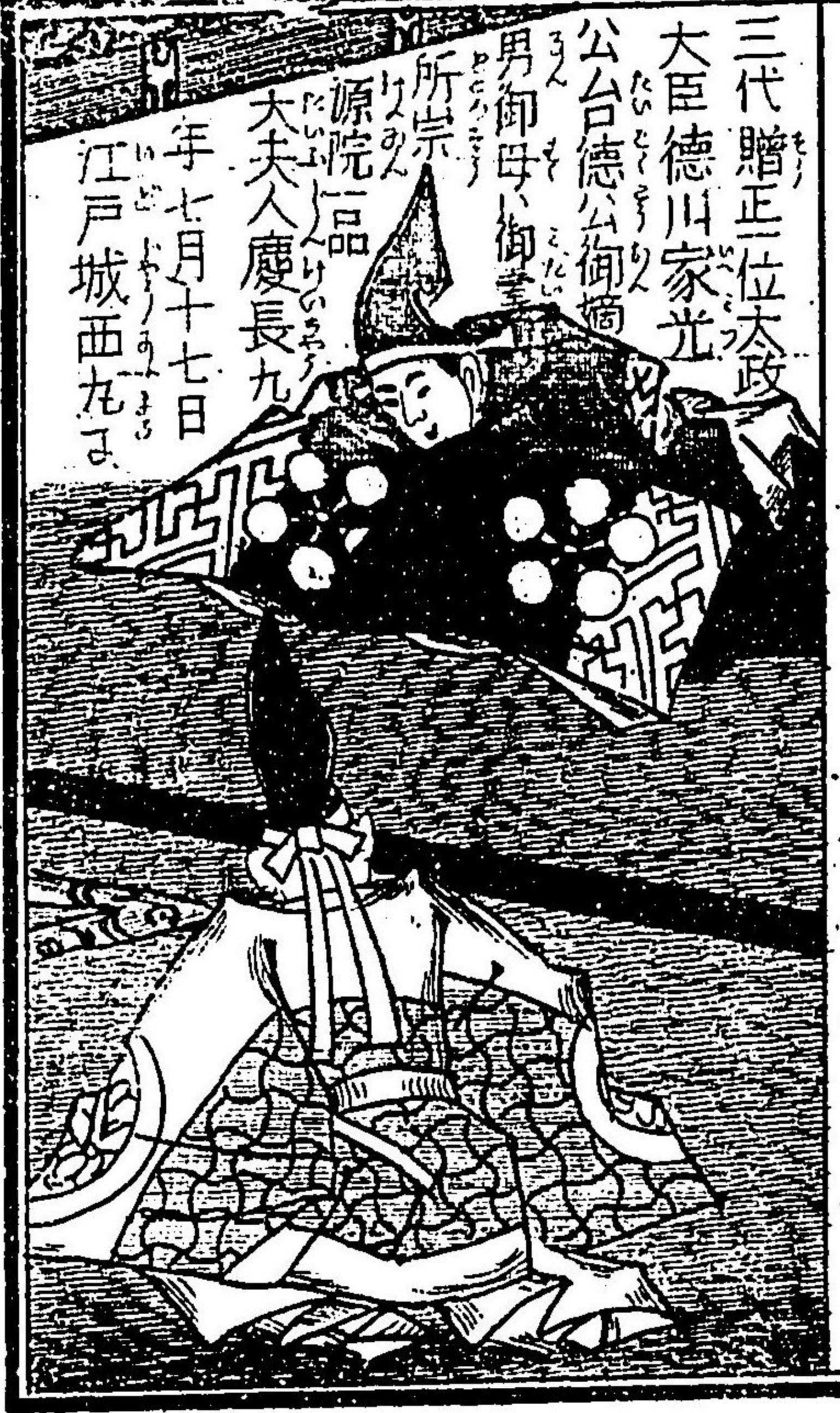
院殿西卿の局
天正七年四月
七日遠江国濱松城に
御誕生長松丸と称す
同十八年正月
御元服豊
大關一字をたま
へ秀忠と称す
同十二月従四位下
叙し少將中將を経て。



三代
贈正位
太政大臣
徳川家光公
台徳公御嫡男御
母の御墓所崇源院一品



大夫人慶長九年
七月十七江戸城
西丸御誕生竹千
代君と称す元和
元年九月七日御元
廿五



三代贈正位太政大臣徳川家光
 公台徳公御嫡男御母御
 所宗
 源院一品
 大夫入慶長九年七月十七日
 江戸城西丸



御誕生竹千代君と稱き元和六年九月七日
 御元服家光と稱せらる



四代

贈正二位大相國

徳川家綱公

大猷公の御嫡男

御母青木大

郎利



長ちやうの女むすめ寛くわん永えい十八年八月

三日江戸

城じやう本ほん丸まる

降くだり誕たんと竹たけ千ち

君きみと稱なづ正保二年正月三日

御元服御加冠井

孝理たうりまつ保科正之ほしきまさゆきの慶安四年

六月御家督ごけとくす

五代

贈正位大相国

徳川綱吉公

大猷公

四男

御母

本庄氏

正保三年正

月八日江戸城

本丸に誕生す



寛文元年上州

館林

封せらる

地三十五

石を領す

延宝元年七月

本丸に御移徒

同廿三日將軍

宣下





七代贈正位太政大臣

徳川家継公

文昭公三男母堂ハ勝

田備中守養妹宝永

六年七月三日酉戌

御誕生世良田鍋

松君と申す正徳

二年十二月十日

御家督廿三日正

位權大納言ヲ任

家つく公と
称す同三年
宣下正二位
内大臣
る同四
年金銀
の製古
ま復す
といへ



將軍



八





徳川家齊公

浚明院殿御養子実ハッ橋大

納言治濟公長男

御母ハ岩本内膳正和



女
安永
二年
十月
五日
橋
御誕生





十二代
贈正位大政
大臣
徳川家慶
公



文恭
公第三男
寛永九年
従三位
叙権大
納言
世子
西丸
文化十三年
御監
兼任

十代

贈 正二位太

政大

臣

惇信公の

御嫡男母

堂の梅

溪中

納言

通係公





徳川
家齊公
安永二年
十月五日
橋邸
御誕生
豊千代
君と稱
天明
元年



天明公
の御君
五月

二年御元服従
二位權大納言
任せられ
家齊公と
稱す
同六年
九年



征夷大將
軍を拜せられ
正二位内大臣
任せられ



贈正二位

太政大臣

徳川家

定公

慎徳公三男

所生

あみつの方

文政六年四月

八月 江戸城生



始め家祥後

定家と

改文政十一年

正二位大納

言程

保天

兼大將

兼ねたり



十五

代内大臣

徳川慶喜

橋家

四年台命

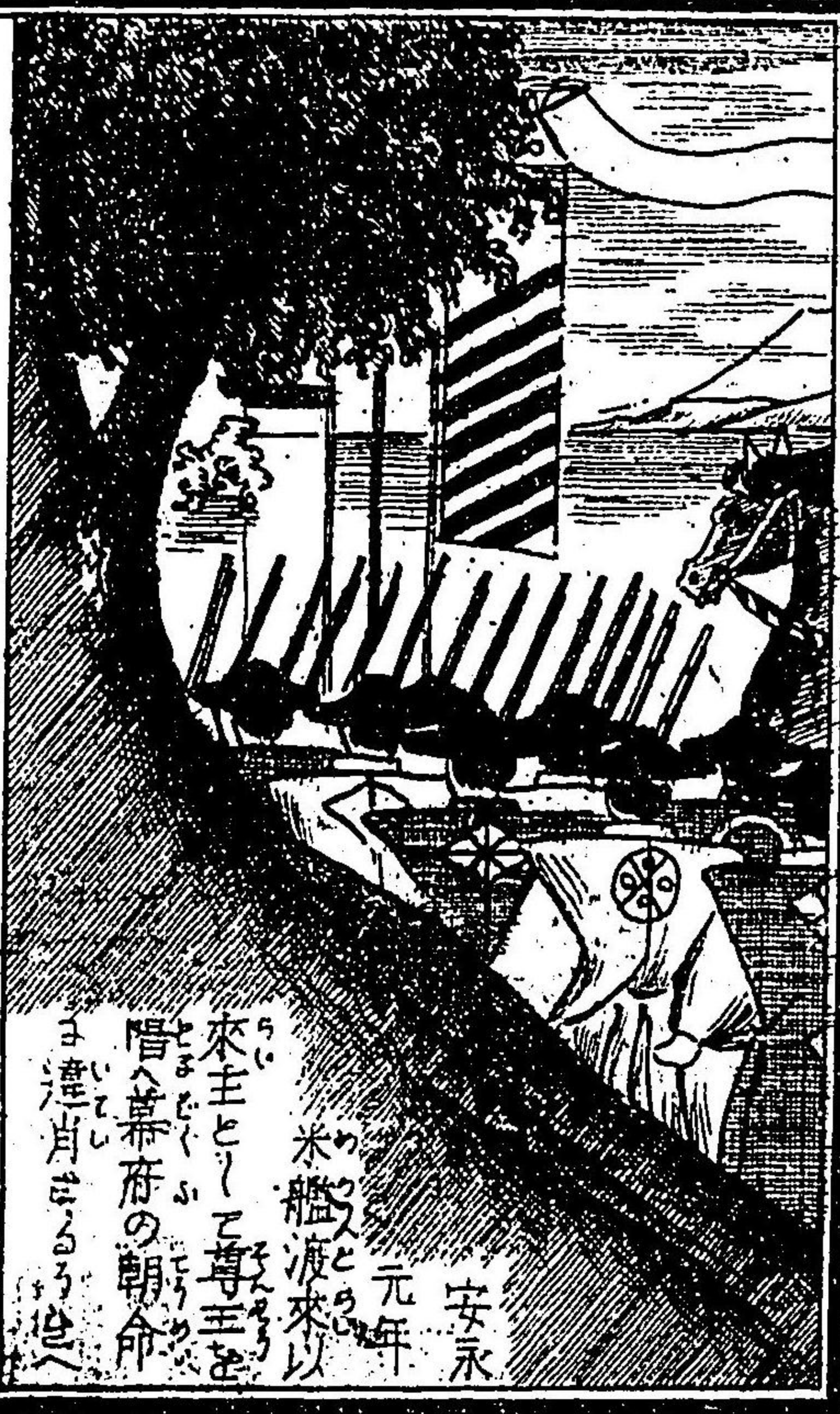
つぎ

徳川刑部

慶喜

公みくひの源公七郎

男初名 九喜永



安永

元年

米艦渡來以

來主として尊王を

唱へ幕府の朝命

は海月をふるはへ

明治十八年十月音御届

東京淺草南元町七番地
編輯出版人

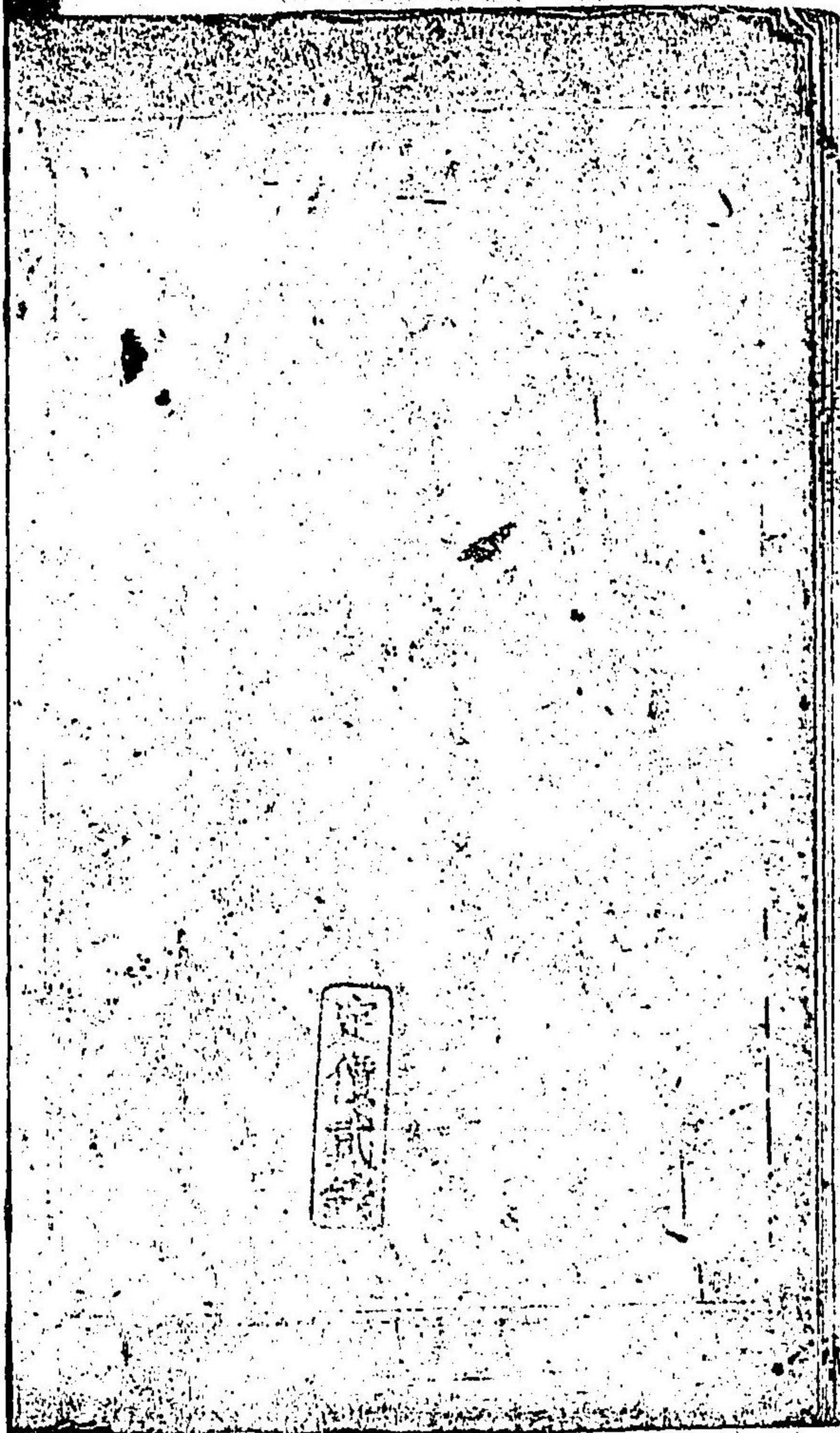
牧金之助

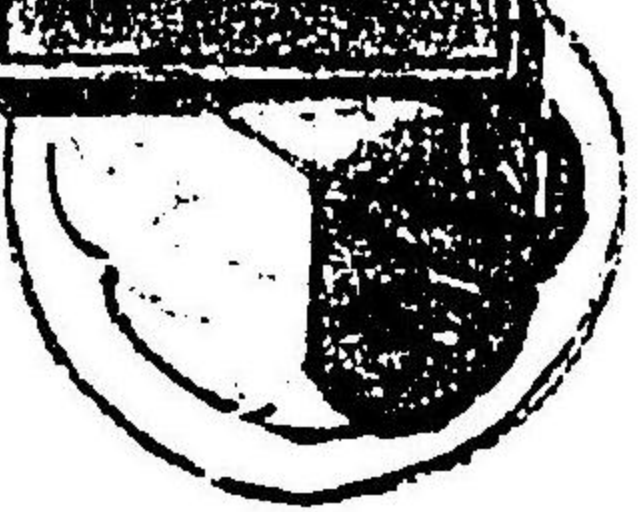
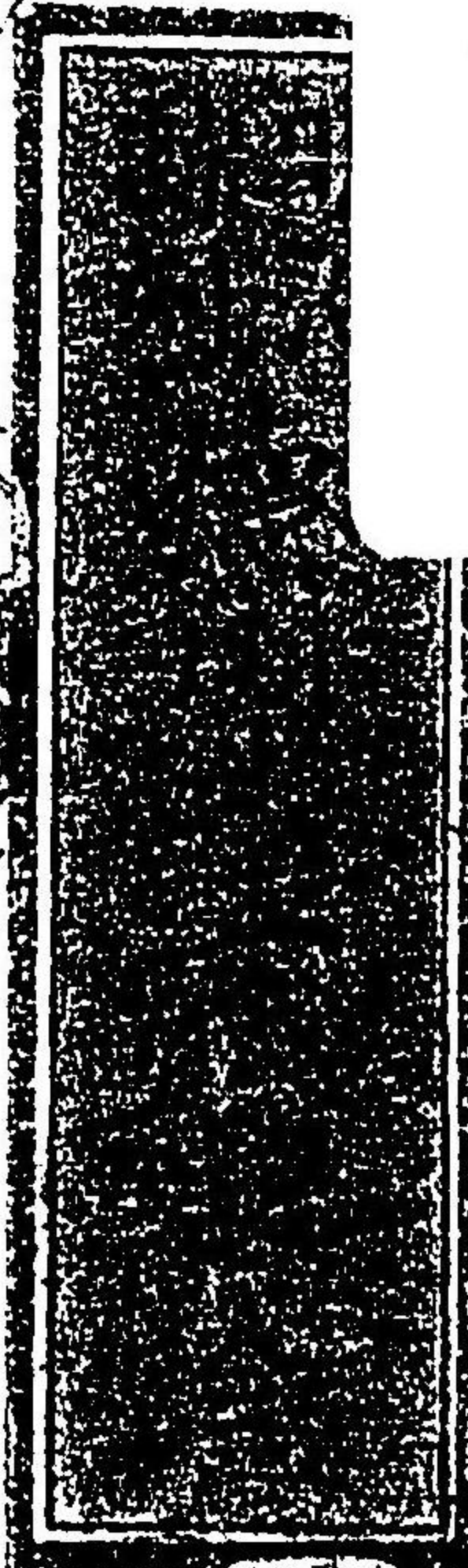
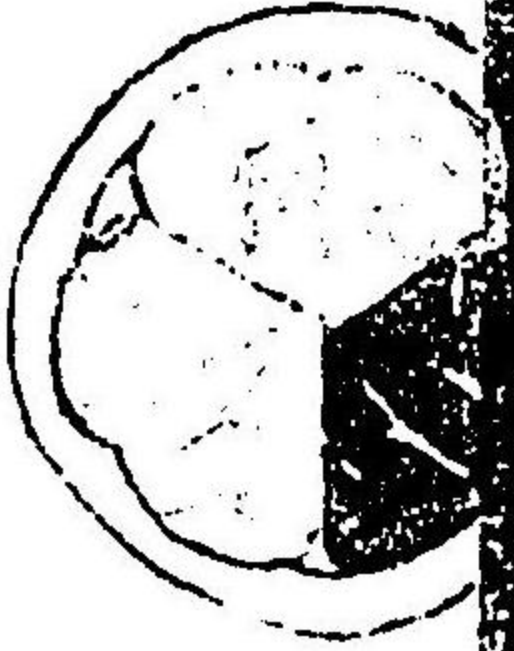
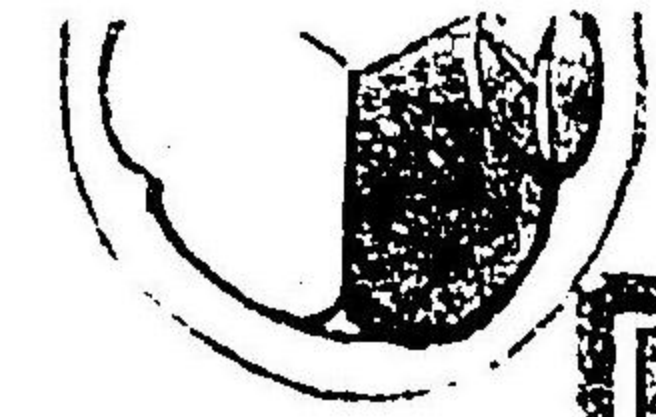


十六

徳川十五代記







110

111

